



陸軍三等軍醫正從六位勳五等高田熙  
特旨ヲ以テ位一級被進  
從六位勳五等高田熙

叙正六位

右謹テ奏ス

明治三十一年七月二十三日

内閣總理大臣伯爵大隈重信 為

五

閣

陸一三〇

七月廿三日 裁可 七月廿三日 裁可

明治三十一年七月廿三日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

陸軍三等軍医正後六位勲五等 高田 熙 八明治十六年  
二月陸軍軍医補 捧命以美 多年軍務ニ終事シ勤  
勞不少 候處 目下病氣危篤ノ趣ニ付 叙位進階  
内別第 五條ニ依リ 陸軍大臣奏請ノ通 特旨ヲ以テ  
位一叙進メラレ 然ルヘシ

内閣



陸軍三等軍醫正從六位勲等 高田 熙  
右多年軍務に從事し勤勞成績不尠者  
有之候處目下病氣危篤殆ニト快復  
ノ目途無之に付特旨ヲ以テ位一階進  
メラレ正六位に叙セラレ度  
謹テ奏ス

明治三十年七月廿三日

陸軍大臣子爵桂 太郎



陸軍省

世第ハ三三

右特旨進位ノ件ヲ進達ス

明治三十一年七月廿三日

陸軍三等軍醫正

高田 漣

陸軍大臣子爵桂 太郎



内閣總理大臣伯爵大隈重信 殿

陸軍省

めくれず

裏面白紙